会　議　録

１　会議名

令和８年度第３回　保倉区地域協議会

２　議題（公開・非公開の別）

〇報告事項（公開）

・上越市公共施設等総合管理計画に基づく取組案について

・市民の消火栓使用について

〇自主的な審議（公開）

・早朝ラジオ体操の振返りについて

・町内子ども会役員との懇談会振返りについて

３　開催日時

令和８年８月６日（木）午後６時から午後７時３３分

４　開催場所

上越市立保倉地区公民館　研修室

５　傍聴人の数

４人

６　非公開の理由

―

７　出席した者（傍聴人を除く。）

・委　員：神村会長、白田副会長、青木委員、榎並委員、佐藤委員、高島委員、髙橋委員、中島委員、羽山委員、平井委員、丸山委員、八木委員

（欠席者なし）

・資産活用課：敷波副課長

・スポーツ推進課：石田課長

・事務局：北部まちづくりセンター　内藤所長、勝島副所長、丸山主任

８　発言の内容

【議題：報告事項　上越市公共施設等総合管理計画に基づく取組案について】

■ 説明

・資産活用課、スポーツ推進課が、資料「上越市公共施設等総合管理計画に基づく取組案

について」に基づき説明

■ 質疑応答

・質問／意見：選挙の投票所として利用する場合、開館時間外となる午前７時から午後８時までの利用や休館日の取扱いはどうなるのか。

→回答：投票所については事前準備や片付けを含め利用可能と考えている。休館日は必要な行事がある場合は個別相談に応じるが、原則として休館日は設ける方針である。

・質問／意見：町内会長連絡協議会等が公民館を利用しているが、見直し後も継続利用できるのか。

→回答：休館日や管理方法の見直しは行うが、必要な利用については個別相談に応じる考えである。

・質問／意見：体育館の利用開始が午前９時になると、イベント開催時の準備時間が不足するのではないか。

→回答：地域行事等で必要がある場合は事前相談により早めの開館に対応できる。

・質問／意見：イベント準備時間も利用料金の対象となるのか。

→回答：基本的には準備時間も利用時間として扱う見込みである。ただし、地域行事の取扱いについては現行制度が維持され、減免利用の可能性がある。

・質問／意見：使用料の引上げや利用時間短縮により、スポーツ活動の縮小や地域スポーツの衰退につながる懸念がある。

→回答：施設維持には一定の費用負担が必要である一方、急激な負担増を避けるため段階的な見直しや緩和措置を検討している。

・質問／意見：夜間利用時間を午後１０時から午後９時へ短縮する案について、利用団体への影響は確認しているのか。

→回答：利用団体の意見を聞きながら調整を進める予定であり、支障が大きい場合は運用の見直しも含めて検討する。

【議題：報告事項　市民の消火栓使用について】

■ 説明

・事務局が、資料「市民の消火栓使用について（お知らせ)」に基づき説明

■ 質疑応答

・質問／意見：保倉区内で実際に消火栓を使用できる場所はどの程度あるのか。また、どのような水道管の条件が必要なのか。

→回答：消火栓の設置状況や利用可能箇所については担当課に確認する。

・質問／意見：地域によっては消火栓が設置されていない場所があり、防火水槽のみが設置されている地区もある。設置状況を整理して把握する必要がある。

→回答：防火水槽と消火栓は別の設備であり、今回の対象は消火栓である。地域によって設置状況は異なるため、正確な箇所数や条件については担当課へ確認する。

・質問／意見：消火栓には種類があるが、今回使用を認める対象はどの種類を想定しているのか。また、実際に使用するための課題は何か。

→回答：今回対象としているのは通常の消火栓である。実際に使用するためにはホースや筒先などの資機材が必要であり、消防団員が常駐しているわけではないため、地域での資機材整備や訓練が重要となる。

【議題：町内子ども会役員との懇談会振返りについて】

■ 説明

・事務局が資料「令和８年度第３回保倉区地域協議会 自主的な審議 資料」に基づき説明

■ 協議

・神村会長：子ども会役員へラジオ体操の案内を行った際の反応や、今後の子ども会活動のあり方について意見を伺いたい。

・髙橋委員：子ども会活動の継続は各地域で課題となっており、活動継続や町内会との連携について地域ごとの実情に応じた対応が必要である。子ども会は任意団体であり、活動を辞めたいとの声が出た場合は継続が難しいのではないか。

・神村会長：実際に活動継続が困難となっている地域もあり、人員不足や担い手不足が大きな課題となっている。町内会による予算支援や運営協力の呼びかけは行っているが、任意団体であるため継続を強制することはできないため、難しい。他地域の子ども会や老人会の現状はどうか。

・羽山委員：児童数は少ないものの、地域行事の一部を担う形で活動を継続しており、引継ぎを行いながら運営している。

・白田委員：子ども会を休止した地域や老人会を縮小した地域の事例もあり、従来と異な

る形で参加しやすい活動を検討する必要があると思う。

・神村会長：今後、地域として子ども会活動をどのように支援していくべきか引き続き話し合いが必要。子育て世代への支援や地域全体で子どもを見守る体制づくり、交流機会の確保が重要である。

【議題：早朝ラジオ体操の振返りについて】

■ 説明

・事務局が、資料「令和８年度第３回保倉区地域協議会 自主的な審議 資料」に基づき説明

■ 協議

・八木委員：顔を合わせる機会として有意義であった。参加人数の見込みが難しいことや、子どもが主体的に参加しやすい運営方法を検討する必要がある。挨拶や企画の時間配分を見直し、全体の流れをより分かりやすくする必要がある。個別に案内を行っても、仕事や移動手段の都合で参加できない人がいる。今後は早めの周知や参加しやすい時間設定が必要であり、ゲームなどの企画についても内容や時間を工夫する必要がある。

・榎並委員：当日は車で来場する人も多く、駐車や動線に課題があったのではないか。

・神村会長：この件について、もう少し話し合いたいので、２グループに分かれて１０分ほど意見交換したいと思う。今年初めて参加した方は感想をお願いしたい。また、昨年と比べてどう変わったか、ラジオ体操だけで終了する形から、お楽しみ会を加えたことによる効果や、来年への期待についても話し合いたい。保倉盛り上げ隊の皆さんが傍聴に来られているが、差し支えなければ意見交換に参加していただきたい。

－　意見交換　－

・相乗りの呼びかけや集合場所の設定が十分に浸透しておらず、今後は事前周知や誘導方法の改善が必要。最初に到着した参加者を誘導役として活用するなど、会場への導線を分かりやすくする工夫が有効ではないか。

・チラシ以外で効果的だった周知方法について、学校での放送やチラシ配布は子どもに直接情報が伝わるため効果が高く、保護者を介した周知よりも参加につながりやすかった。

・徒歩で参加できる地域でも車で来場する人が多かったことについて。保護者の送迎を前提とする家庭も多く、駐車場や動線の確保を含めた運営面の配慮が必要。
・役員確保や運営体制について今後の工夫について、地域活動への参加を促すためには役員の確保が重要であり、負担軽減を図りながら継続できる体制づくりが必要。
・ゲーム企画について改善すべき点は、年齢を問わず参加できる内容は好評であった一方、体力的な負担や天候への配慮、所要時間の短縮などを検討する必要がある。
・来年度に向けての方向性としてはラジオ体操だけでなく交流要素を取り入れる取組は一定の効果があったため、地域住民が気軽に参加できる内容を継続しながら改善を重ねていくことが重要。

【議題：その他】
・会長から、１０月１１日に開催される１００Ｋｍマラソン最終回に向けた応援企画について協力依頼があった。横断幕へのメッセージ記入や応援グッズの活用、太鼓など地域ごとの工夫を取り入れながら、地域全体で応援機運を高めたい。１００Ｋｍマラソンを地域住民の交流や一体感の醸成につなげ、今後の地域活動の活性化に結び付けたいとの考えが示された。

【事務連絡】
・事務局から、今後の主な予定として地域協議会会長会議、市民と市長の対話集会（スマイルミーティング）、成果発表会、１００Ｋｍマラソンの日程について説明があった。
・次回の地域協議会：令和８年１０月２０日（火）午後６時～

９　問合せ先

総合政策部　地域政策課　北部まちづくりセンター

TEL：025-531-1337

E-mail：hokubu-machi@city.joetsu.lg.jp

１０　その他

別添の会議資料もあわせてご覧ください。